



187 NW1 2NJ vol.1



For adult only



mechi

## Contents

re:S3-1	3
共謀	15
碧い星	41
寝物語【会話】	53
おいしゃさんごっこ	62
We Found...	76
契約	87
オリの自由	114

re:S3-1

---

神様の元に召されたはずの愛しい人は、なぜこんなタ

イミングで、わざわざ婚約者にプロポーズしようとい

う最悪のタイミングで、のこのこと戻ってきたのだろ

う？

シャーロック、愛しい人、僕の恋人、僕の光、僕の唯

一の支配者。

2年前、僕の目の前で屋上から飛び降りて、死んだ。

——死んだはずだった。

「面白ければ許されると思つて：」

しゃあしゃあと心底ムカつくニヤけ顔は言葉尻を濁し、本気で“そう”思つているのがわかりついテープルを殴つていた。

視界が怒りで赤く染まっていくのがわかる。

「怒りに任せてもいいことないぞ」

この後に及んで冷静に僕をたしなめようとする、たしなめられる筋合いなんて、ない。

『どうして、生きてるつて教えてくれなかつた？』

『どうして生きてる、どうやつた？』

『なんでいま？』

『聞きたいことがぐるぐると頭の中を巡つてうまく舌があ

動かない、チクショウ。』

暴れる心臓に殴りつけられた肺が、ハッと短く息を吐き出すだけ。

言葉を失つた僕をさらにおちよくるように、少し小馬鹿にしたような笑みを漏らしながら、

「でそのヒゲ、マジ？」

つて。

舌をうまくコントロールできていれば『サノバビッチ！』くらいは罵ることもできたのに、とにかく、全身全霊の怒りを込めて彼の胸ぐらを掴み馬乗りで殴りかかつてた。

「認めろよ、僕が恋しかつたんだろう？」

この地獄からいつたいどうやつて召喚されてきた悪魔は、どうしてそんなにもギラギラした瞳で僕の瞳を覗